

経済学史学会 第74回 全国大会 プログラム

第1日目 5月22日(土)

於富山大学 (2010年5月22日-23日)

時刻	第1会場	第2会場	第3会場
9:50	報告者：佐藤滋正 (尾道大学) 論 題：アダム・スミスのメンテナンス論 司会者：竹永 進 (大東文化大学)	報告者：土田和長 (富士大学) 論 題：労働の採算性：ヨハン・ハインリヒ・v・チューネン「自然労賃」に即して 司会者：江頭進 (小樽商科大学)	報告者：杉本昌俊 論 題：クールノー独占モデル解釈についての一考察 司会者：堂目卓生 (大阪大学)
10:50	討論者：水田健 (東日本国際大学)	討論者：塘 茂樹 (京都産業大学)	討論者：岡 敏弘 (福井県立大学)
11:00	報告者：古谷 豊 (東北大学) 論 題：ジェイムズ・ステュアートとデヴィッド・ヒューム 司会者：竹本洋 (関西学院大学)	報告者：石井 穰 (工学院大学) 論 題：リカードウにおける労働需要の決定要因 司会者：出雲雅志 (神奈川大学)	報告者：原谷直樹 (東京大学 院) 論 題：方法論的個人主義の諸相 司会者：荒川章義 (九州大学)
12:00	討論者：坂本達哉 (慶應義塾大学)	討論者：福田進治 (弘前大学)	討論者：太子堂正称 (東洋大学)
12:00 12:50	昼食		
12:50 13:50	総会 (開催校挨拶)		
14:00	報告者：荒井智行 (中央大学 院) 論 題：スミス以後の貧困問題と19世紀初頭の政治経済学 司会者：関 源太郎 (九州大学)	報告者：八木紀一郎 (京都大学) 論 題：富山大学のフリードリヒ・v・ヴィーザー文庫 司会者：田村信一 (北星学園大学)	報告者：姫野順一 (長崎大学) 論 題：「言語の束」としての20世紀初頭の「自由帝国」思想：アダム・スミス解釈の分岐として 司会者：佐藤有史 (湘南工科大学)
15:00	討論者：篠原 久 (関西学院大学)	討論者：池田幸弘 (慶應義塾大学)	討論者：服部正治 (立教大学)
15:10	組織者：田中秀夫 (京都大学) セッション「啓蒙と経済学の形成—グローバルな視点から」	組織者：岡村東洋光 (九州産業大学) セッション「社会的な制度としてのフィランソロピーの検討」	Franck Jovanovic (TELUQ-UQAM) The dissemination of Louis Bachelier's work in economics and mathematics
16:10	報告者および論題 渡辺恵一 (京都学園大学)	報告者および論題 金沢周作 (京都大学)	Chairperson: Toshiaki Hirai (Sophia University) Commentator: Yoshihiro Yamazaki (Fukuoka University)
16:20	ブリテン啓蒙とスミス経済学の形成 生越利昭 (兵庫県立大学) 明治啓蒙における経済思想	慈善信託法(1853年)の長い制定過程 岡村東洋光 5%フィランソロピーの意義と限界	報告者：高見典和 (大阪大学) 論 題：ケインズ・ピグー失業論争： ピグーの視点から
17:20	田中秀夫 (京都大学) 啓蒙の経済学の多様性と統一性	山本 卓 (新潟県立大学) ロンドン慈善組織協会 (COS) と「尊厳ある」失業者	司会者：井上義朗 (中央大学) 討論者：山崎 聡 (高知大学)
17:30		司会者：深貝保則 (横浜国立大学) 討論者：山脇直司 (東京大学)	報告者：岡 敏弘 (福井県立大学) 論 題：ケインズ利子論はスラッフアの批判を 超えられる
18:30	司会者：原田哲史 (四日市大学) 討論者：奥田 敬 (甲南大学)	赤木 誠 (一橋大学) 高田 実 (下関市立大学)	司会者：荒川章義 (九州大学) 討論者：平井俊顕 (上智大学)
18:40 20:30	懇 親 会		

第2日目 5月23日(日)

時刻	第1会場	第2会場	第3会場
9:30	<p>組織者、司会者：若田部昌澄（早稲田大学） セッション「現代の問題群の経済思想史： 20世紀前半アメリカの視点から」 報告者および論題 佐藤方宣（大東文化大学） 市場の倫理，競争の倫理： 戦間期アメリカからの視点</p>	<p>報告者：柴田徳太郎（東京大学） 論 題：見えざる手とコンヴェンション： スミスとヒュームの秩序生成論</p> <p>司会者：新村聡（岡山大学） 討論者：只腰親和（横浜市立大学）</p>	<p>Okan Duru (Istanbul Technical University) Theory of shipping productivity revisited: industrial revolution, ship technology and shipping freight rates</p> <p>Chairperson: Tamotsu Nishizawa (Hitotsubashi University) Commentator: Masashi Kondo (Osaka Prefectural University)</p>
10:30	<p>加藤健（横浜国立大学）</p>		
10:40	<p>1910年代以降アメリカにおける社会保険の軸</p> <p>生垣琴絵（北海道大学 院） 消費と生活水準： 経済学と家政学での取り組み</p> <p>討論者：江里口拓（愛知県立大学） 原谷直樹（東京大学 院）</p>	<p>報告者：保住敏彦（愛知大学）</p> <p>論 題：ヴァイマル共和国の ドイツ社会民主主義思想</p> <p>司会者：赤間道夫（愛媛大学） 討論者：河野裕康（金城学院大学）</p>	<p>報告者：石井信之（青山学院大学）</p> <p>論 題：経済思想史通史の方法的問題： 21世紀初頭の段階における通史像</p> <p>司会者：千賀重義（横浜市立大学名誉教授） 討論者：音無通宏（中央大学）</p>
11:40 12:30	昼 食		
12:30	共通論題 「経済学史の形成」		
	<p>組織者：小林 純（立教大学） 栗田啓子（東京女子大学）</p> <p>報告者および論題 西沢 保（一橋大学） イギリスにおける経済学史研究の形成、c. 1870s-1920s</p> <p>高 哲男（九州産業大学） 19世紀末から20世紀初頭アメリカにおける経済学史研究の特徴</p> <p>御崎加代子（滋賀大学） レオン・ワルラスの経済学史観－純粹・社会・応用経済学の起源</p> <p>栗田啓子（東京女子大学） ジッド＝リストの『経済学史』－世紀転換期における経済学観の変容</p> <p>井上琢智（関西学院大学） 添田寿一と河上肇・福田徳三の日本経済思想史研究</p> <p>司会者：八木紀一郎（京都大学）</p>		
15:30	<p>討論者：有江大介（横浜国立大学） 鈴木信雄（千葉経済大学）</p>		